## 大阪湾沿岸 海岸保全施設整備計画 10

岸	岸夕	ン		名	堺北ゾーン	IJ	ア		特	性	環境創造・活性化エリア	
• • •				7							THE POINTS OF THE POINTS	
• • •	タ			名	堺市					域	松屋三宝	
十高潮		1	ſ	プ	直立堤防					管	国土交通省 (河川局)	
	位(⊦	Н.Н	. W .	L)	T.P.+3.9m		高	(	Но	)	3.2m	
表	堤	ß	È	高	T.P.+4.20m	況	の	堤	防	高	T.P.+3.50m	
況	の	斺	Ð	設	堤防 1261m							
岸の	整	備	方	針	・防護機能の確保・周辺景観および利用との調和							
海岸	≢ 0	D	防	護	・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改良を行い防護機能を確保する。 ・必要に応じて耐震性の強化対策を講じる。							
環境	か 整	備。	ヒ保	全	・周辺景観との調和に配慮する	ò						
公衆	の 適	正な	よ利	用	・周辺の都市機能との調和を図	る。						
備(	ע ס	必	要	性	堤防の天端高が不足しているため、高潮への防護機能を確保するとともに、必要に応じて耐震性の強化対策を講じていく必要がある。							
備計	画	Ø	概	要	周辺や都市機能との調和に配慮しつつ、堤防の嵩上げ等の改良を行うとともに、必要に応じて耐震性の強化を行う。 (1)整備海岸延長 : 1,261m (2)整備内容 : 堤防(改良)							
民		意		見	・防護機能の早期確保、防護に対する万全な対応							
待さ	ħ	వ	効	果	・堤防の嵩上げ等の改良や必要に応じた耐震性の強化により、高潮などから背後地の安全性の向上が図られる。							
岸 管 慮	理に	ま	lt		4. T.							
	海   環   公   備   情   け   さ   管	海環公備備のののかけるでは、一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一番を一	海環境のの適ののの動きる。おおおりまた。	海岸の防っている。	海 環 公 備 計 民 さ 理 概 見 果 る	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ・必要に応じて耐震性の強化対 環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。 公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改 ・必要に応じて耐震性の強化対策を講 環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。  公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図る。  備 の 必 要 性 じて耐震性の強化対策を講じているため、	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改良を行・必要に応じて耐震性の強化対策を講じる。 環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。 公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図る。  備 の 必 要 性 堤防の天端高が不足しているため、高潮に不足しているため、高潮になるでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改良を行い・必要に応じて耐震性の強化対策を講じる。  環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。  公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図る。  備 の 必 要 性 じて耐震性の強化対策を講じていく必要がある  周辺や都市機能との調和に配慮しつつ、堤防に応じて耐震性の強化を行う。 (1)整備海岸延長 : 1,261m (2)整備内容 : 堤防(改良)  民 意 見・防護機能の早期確保、防護に対する万全な対  ・ 防護機能の早期確保、防護に対する万全な対  全性の向上が図られる。	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改良を行い防護権・必要に応じて耐震性の強化対策を講じる。  環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。  公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図る。  構 の 必 要 性	海 岸 の 防 護 ・高潮対策として堤防の嵩上げ等の改良を行い防護機能・必要に応じて耐震性の強化対策を講じる。  環境の整備と保全・周辺景観との調和に配慮する。  公衆の適正な利用・周辺の都市機能との調和を図る。  構 の 必 要 性	

